

【連載・県立高校の今】 第3回 千葉商業高校（起業家育成に関するコース） 一宮商業高校（観光に関するコース）

県教育庁企画管理部教育政策課高校改革推進室

1 商業教育の充実に向けた取組

商業科は、商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目標としている。

本県の商業科では、最新の商業教育に関する情報の共有を図るとともに、各校が地元産業界と連携し、実践的な学びを推進している。

県教育委員会では、令和4年10月に「県立高校改革推進プラン」に基づき、「第1次実施プログラム」を策定した。本プログラムの「商業教育の充実」として、令和6年度から千葉商業高校に「起業家育成に関するコース」、一宮商業高校に「観光に関するコース」を設置することとした。

本稿では、令和6年度に新たにコースが設置される千葉商業高校及び一宮商業高校から、両校の取組を寄せてもらった。

2 千葉商業高等学校

本校では、令和6年度から「起業家育成に関するコース」として「アントレプレナーシップコース」を設置し、商業のスペシャリストや起業家精神を有する人材の育成を通じて商業教育の充実を図ることとしている。

(1)今年度の取組（千葉大学との連携授業）

起業家精神を学ぶ取組として、1学年320人を対象に千葉大学との連携授業を行った。千葉大学は、アントレプレナーシップ教育の機会を高校生等へと拡大させる国立研究開発

法人科学技術振興機構（JST）の事業に共同機関として参画し、アントレプレナーシップ教育の普及・促進に向けた活動をしている。本校でも千葉大学とのアントレプレナーシップ教育に係る相互協力の連携に積極的に取り組んでいる。

連携授業では、千葉大学院生が中心となり開発した、オンライン教材の起業シミュレーション「ひな社長の挑戦」を活用した。これは過疎が進む地域で架空の会社を起業するストーリーとなっており、会社づくりの基礎を学ぶことができる。生徒たちはグループで意見を出し合いながら、起業側の視点で考えることができた。



(2)授業内容

○「アントレプレナーシップ」

（3年：学校設定科目）

- 創造的な視点で新たな取組を提案できる起業家精神と起業家的資質・能力を有する人材の育成を目指す。
- ビジネスの創造や知的財産権の活用方法と保護、また開発した技術をビジネスに転換する方法などについて学習する。

- 主体的で対話的な学習活動により、他者の意見を尊重する心構えを育み、創造的な発想が生まれやすい授業を展開する。
- 企業や大学との連携を図り、実社会のビジネス活動を踏まえた創造教育と実践的なキャリア教育を推進する。

(3)今後の取組

アントレプレナーシップに関する教育教材の開発・研究や、ポスター・リーフレット等の広報・案内活動の推進に取り組む。

3 一宮商業高等学校

本校では、観光に関する知識や技術の習得を目指す「観光コース」を設置し、観光ビジネス従事者としての心構えやマナー、おもてなしの精神などを企業と連携しながら学ぶ。

(1)授業内容

①観光ビジネス（2年）

宿泊業や旅客輸送業など、観光ビジネスの各主体に関して、ビジネス及び関連法規の概要、観光ビジネスにおけるマーケティングや観光振興とまちづくりについて学ぶ。

②観光ホスピタリティ（2年：学校設定科目）

観光ビジネスにおけるホスピタリティの概念と重要性、接客方法やマナーについてビジネスの場面を想定した学習活動を行う。

③地域観光（3年：学校設定科目）

観光振興や観光まちづくりについて企画・運営する「実学」により、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身につける。

(2)特別講座『ICHISHO Tourism Lab』

観光ホスピタリティについて、月に1回程度の特別講座の開講や、長期休業中の職場体験の実施により、専門性を高める。

①サービス接遇講座

ホスピタリティの在り方や、観光の仕事に役立つ知識やマナーを学び、観光ホスピタ

リティの学びの深化を図る。また、「サービス接遇検定」の取得も可能である。

②観光ビジネスインターンシップ

現場での実践により、観光に関する学びの深化を図る。ホテルやゴルフ場、その他観光施設等での職場体験を計画している。

③中国語基礎講座

一宮町内の観光業者等の協力を得て、中国語の基礎や簡単な観光ガイドの例文を学び、中国語に触れる。

(3)卒業後の進路

①高卒で就職

- 地元観光産業への就職が中心
- ホテルやゴルフ場などの「観光ホスピタリティ系」、鉄道会社や観光バス会社などの「観光ツーリズム系」への就職

②専修学校・短期大学へ進学

- 専門的な学びが深まり高卒よりも職種の選択肢が拡大
- キャビンアテンダントやグラウンドスタッフなどの航空関連への就職も可能

③四年制大学へ進学

- 観光学に関する幅広い学習
- 「観光政策系」への就職
日本政府観光局（JNTO）や観光庁職員、地方自治体観光課職員、観光地域づくり法人（DMO）などの職種への就職

